

離島環境検査報告

離島学校環境衛生検査について



みしまフェリー



学校保健委員会 委員長 長野 慎 治

鹿児島市薬剤師会では、十島村7校、三島村4校の離島での学校環境衛生検査を毎年実施しております。本年度も計11校の検査を実施する予定ですが、私は11月7日（水）に三島村の片泊小中学校を訪問しましたので、ご報告いたします。

三島村は、鹿児島県薩摩半島の最南端・長崎鼻から南南西約40kmに位置する、竹島・硫黄島・黒島の三島からなります。三島村には4つの学校があります。5年前まで県薬剤師会にて、この4つの学校にて毎年環境衛生検査の事業をおこなってきました。この検査事業を県薬から鹿児島市薬剤師会にて実施することになり、今年で4回目となりました。三島村環境衛生検査の内容を少し紹介します。

三島村には三島フェリーで移動します。朝9時に鹿児島港を出港し、約4時間かけて初めは竹島（1校）に、つづいて硫黄島（1校）にそれぞれ1名担当者を派遣していきます。最後に黒島（2校）は2名を各学校に派遣します。黒島は片泊港に行くと学校の終わりの時刻になってしまうので、片泊の学校から車で迎えに来てもらい、大里港から車で移動になります。日帰りは無理なので、翌日の8時からの船にて、順次鹿児島港へ帰路に向かいます。鹿児島港へは14：30頃に到着となります。

学校環境衛生検査での実施項目は、照度測定・飲料水の水質検査・衛生害虫および教室などの備品の管理・給食室検査、また、今回もダニの検査依頼もあり、実施してきました。設

備などは小規模ながら機能としては普通の学校と同じものでした。水質、照度ほか環境衛生状態も良好でした。ただ、海に面しているため、金属などの老朽化が早いため、塗装などのメンテナンスを注意して、腐食で遊具が危険でないかなど見て回りました。薬物乱用教室では小学生と中学生に分かれて2回実施しました。タバコなどの誘いを断るときの練習なども実施でき、少人数ならではのほのほのとした雰囲気で行うことができました。学校での滞在時間は3時間程度になるので、実施できた内容も不十分でしたが、水質他、検査の結果も良好でした。昨年の薬乱乱用防止教室の内容をみんな覚えており、授業の内容を今後も工夫していかないといけないと感じております。最後に釣り好きの方は大物が釣れますし、海に面している硫黄島の温泉は、全国的に秘湯として有名です。

全島あげて、島への訪問を歓迎しているので、ぜひ一度行ってみられることをお勧めします。



薬乱教室の様子



硫黄島の活動



校庭からの夕日